

交野市教委ニュース

第138号（令和2年10月21日発行）

星のまち学園「中学校の日」が実施されました。

令和2年10月13日（火）に、第三中学校において児童が中学校生活を体験する「中学校の日」が実施されました。星田小学校、旭小学校、妙見坂小学校の6年生の児童は、中学校の教員による授業を受けたり、生徒会執行部員が主体となった学校紹介のスライド等を見たり、部活動見学を行ったりすることで、中学校生活をイメージする良い機会となりました。今年度の体験授業は、国語、社会、数学、理科、英語、美術、技術の7教科において、各教室20名程度とするなど、感染予防にも配慮された形での実施となりました。

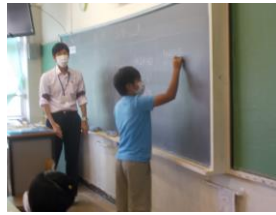
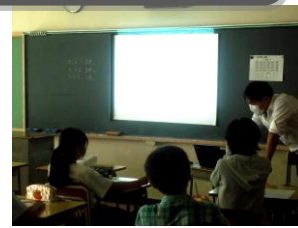


気持ちは、もう中学生！？みんなしっかり中学生を体験しました。

「体験授業の内容」

- ・国語 創作漢字を考えよう!!
- ・社会 中学で学習する時事クイズ
- ・数学 文字と式について考えよう
- ・理科 金属に「めっき加工」してみよう
- ・英語 I want to be ～将来の仕事について表現しよう
- ・美術 クロスハッチング、点描、インプリントを体験しよう
- ・技術 プログラミングを通してドッジボールをしよう

どの授業も、児童の興味・関心を引き付けるように工夫されていました。そして、それ以上に、子どもたちが意欲的に取り組んでいる姿が印象的でした。



来春にむけて「憧れの先輩像」を描くことができました。

未来を生き抜く「柔軟でたくましい子どもたち」を9年間で育てるための手法として、今年度より交野市小中一貫教育が全中学校区で実施されています。その中で、児童と生徒が交流し、共に過ごす「中学校の日」はとても大切な取り組みの1つです。中学校入学前に、児童は「憧れの先輩像」を描き、生徒は、「先輩としての自覚」「自己有用感の向上」につなげることができました。また、学校紹介では、中学校のさまざまな行事の概要および、三中の伝統である体育祭でのデコレーションパネルの制作やブロックアピール(オリジナルダンス)について説明があり、児童は熱心に聞き入っていました。

